

12月中の人口のうごき	
世帯数	8,209世帯
人口	38,319人
総数	19,328人
男女	18,991人
出生	100人
死亡	73人
男女	77人
男女計	196人
出生	15人
死亡	24人
男女	39人
男女計	19人
轉入	180人
轉出	150人



所行市留萌市役所
電話(代)270番
編集人邊勝郎
總務課長留萌市幸町三丁目
印刷所金子印刷所
(毎月1回1日發行)

第一回臨時市議会

意見書を付して認定

昭和三十二年第一回臨時市議会は去る一月十八日に開かれ、議案四件、報告二件、請願三件、認定一件の各案件について、それらが活潑な審議が行われました。その結果は次のとおりであります。

▲留萌市第九回短期公債証券發行條例制定について
歳計調整のため三十一年度において三千円以内の短期公債証券を發行しようというもので、原案可決。

▲昭和三十一年度起債について
——都市災害復舊費として百二十万円の起債をしようというもので、原案可決。

▲固定資産評議委員の選任について——次の二人が選任されました。

留萌市錦町一丁目 森本正義
留萌市幌糠町 久保龍太郎

てもらいたいといふ留萌開拓農協から提出あつたもので、これも異議なく採擇と決定しました。

なお閉会中繼續審議となつておりましたものでは、昭和三十年度留萌市各會計歳入歳出決算の認定について——これは昨年十二月第四回定期例会において決算審査特別委員会に付託となつておりました。が、議会は次の意見書をつけて認定いたしました。

▲昭和三十年度留萌市各會計歳入歳出決算の認定について——これは昨年十二月第四回定期例会において決算審査特別委員会に付託となつておりました。が、議会は次の意見書をつけて認定いたしました。

このことから、出納閉鎖期を九月に遅延して決算がなされたため歳計上千四百四十九万円の翌年度繰り越額を生じておるが、決算本来の在り方からみて、前記二千五十八万円から他会計への繰出金五百七十四万一千円を差引いた一千四百八十三万九千円は実質的赤字の性格を持つものとみなされる。

百七十四万一千円を差引いた一千四百八十三万九千円は実質的赤字の性格を持つものとみなされる。

以上の三十一年度決算から千四百七十四万六千円の巨額に達しており、従つて一般会計において漸次歳入歳出の均衡を取り戻し、財政健全化への方向に好轉しつつあるとはいえ、このようないくつもとみられるべきが年々累積の傾向にあることは、特別会計本来の在り方から見て不健全であり、

生活に困ったとき、生活するためにいろいろと困ったことができたとき、十才にならない子供さんと、上水道費会計及び港瀬費会計で歳計上それ

はおるが、一般会計から繰入、事業繰越がなされておるため、実質的な赤字とみなされる額は相

当額に達しておる。國民健康保険費会計、國民健康保険病院費会計においても

生活に困ったとき、生活するためにいろいろと困ったことができたとき、十才にならない子供さんと、上水道費会計及び港瀬費会計で歳計上それ

はおるが、一般会計から繰入、事業繰越がなされておるため、実質的な赤字とみなされる額は相

当額に達しておる。國民健康保険費会計、國民健康保険病院費会計においても

生活に困ったとき、生活のためにいろいろと困ったことができたとき、十才にならない子供さんと、上水道費会計及び港瀬費会計で歳計上それ

はおるが、一般会計から繰入、事業繰越がなされておるため、実質的な赤字とみなされる額は相

当額に達しておる。國民健康保険費会計、國民健康保険病院費会計においても

生活に困